

2014年4月30日

SEHS Next Tide Workshop 2014

社会経済史学会次世代研究者育成ワークショップ

募集要項

日時：2014年9月14日（日）－15日（月・休日）

会場：大阪大学中之島センター3階302講義室

〒530-0005 大阪市北区中之島4-3-53

<http://www.onc.osaka-u.ac.jp/others/map/index.php>

1. ワークショップの趣旨

SEHS Next Tide Workshop は、若手研究者が研究対象とする地域や時代の枠を超えて議論・交流する機会を提供し、社会経済史学の将来を担う次世代の優れた研究者を育成することを目的とするものです。各セッションでのディスカッションに積極的に参加していただける方の応募を期待します。

2. 対象

大学院博士課程在籍者、およびPD・助教クラス。（主対象は、博士論文準備中のもの）

3. 募集人数

20名程度

（応募者多数の場合には選考委員会による選考によって参加者を決定します。）

4. 提出書類

電子ファイル（指定フォーマットに入力してメールで提出）

書式A) 個人情報を含むファイル：氏名、住所、所属など

書式B) 業績一覧：学会・研究会発表、論文（修士論文を含む）

なおテーマに関して予備知識のない方も歓迎します。

5. 書類提出先

社会経済史学会事務局 sehs@kurenai.waseda.jp

6. ワークショップの内容についての問い合わせ

社会経済史学会企画委員 沢井 実 sawai@econ.osaka-u.ac.jp

7. 提出期限

2014年7月9日（水）

（選考結果は8月中旬頃にお知らせいたします。）

8. プログラム

統一テーマ：「戦前・戦後東アジア地域の経済成長」

【1日目】

NTWの趣旨説明 古田 和子氏（企画委員会委員長・慶應義塾大学）

12:30～15:30 セッションI

パネル・ディスカッション「戦前日本が東アジアの経済成長に果たした役割」

司会：兒玉 州平氏（神戸大学大学院人文学研究科・助教）

報告者：前田 廉孝氏（西南学院大学経済学部・講師）

久保田 裕次氏（京都大学公共政策大学院・日本学術振興会特別研究員）

兒玉 州平（神戸大学大学院人文学研究科・助教）

コメント：佐々木 啓氏（茨城大学人文学部・准教授） 日本史の立場から

水田 大紀氏（大阪大学大学院文学研究科・助教） 西洋史の立場から

☆ 報告およびコメントのあと、参加者によるディスカッション

15:45～18:15 セッションII

ラウンド・テーブル「経済成長の先にあるもの」

司会：竹内 竜介氏（横浜国立大学国際社会科学院・准教授）

話題提供者：連 興楨氏（神戸大学大学院人文学研究科・博士後期課程）

・・・中国の事例から

落合 絵美氏（同志社大学社会学部・日本学術振興会特別研究員）

・・・シンガポールの事例から

山田 協太氏（京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科・助教）

・・・南アジアの事例から

☆ 話題提供のあと、参加者全員によるディスカッション

19:00～懇親会

アパホテル（大阪肥後橋駅前）・「ラ・ベランダ」

【2日目】

9:00～12:00 セッションIII

講演：大島 真理夫氏（大阪市立大学大学院経済学研究科・教授）

「近代日本・現代東アジア成長の歴史像—悲観論・楽観論を超える—」

および参加者によるディスカッション

13:00～15:00 参加者からのフィードバック

※各セッションの詳細・参考文献については後日参加者にご連絡します。

9. 参加費

5,000円（予定）[懇親会費・会議費のみ。宿泊費については別途ご連絡いたします]

10. その他

宿泊については、原則として「アパホテル（大阪肥後橋駅前）」（〒550-0001 大阪市西区土佐堀1-2-1、Tel:06-6449-9111）に合宿していただきますが、参加者数・参加者の在在地等によって宿泊態様に変更になる場合があります。詳細は追って参加者に連絡いたします。

以上。

実行委員 沢井実（大阪大学）、西村雄志（関西大学）、
小堀聡（名古屋大学）、兒玉州平（神戸大学）